

「『社会保障・税一体改革』による社会保障の安定財源確保」の推移

(単位：兆円)

	社会保障4経費(注2)(A)					消費税収(B) (国分)	スキマ(B-A)	B/A(%)
	年金(注3)	医療	介護	子ども・子育て支援	合計			
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	
平成26年度	11.4	10.9	2.8	1.9	26.9	11.9	▲ 15.0	44.3
平成27年度	11.7	11.2	2.8	2.0	27.7	13.3	▲ 14.5	47.9
	103.0	103.2	102.3	105.4	103.2	111.6	96.5	
平成28年度	11.9	11.3	2.9	2.0	28.2	13.4	▲ 14.8	47.4
	101.6	100.5	103.6	102.7	101.6	100.4	102.7	
平成29年度	12.1	11.5	3.0	2.1	28.7	13.3	▲ 15.4	46.4
	101.3	102.0	102.8	104.5	101.8	99.7	103.7	
平成30年度	12.3	11.6	3.1	2.1	29.1	13.6	▲ 15.5	46.8
	101.8	100.9	102.7	101.4	101.5	102.5	100.7	
令和元年度	12.7	11.9	3.2	2.6	30.3	15.4	▲ 15.0	50.7
	103.0	102.1	103.7	120.3	104.0	112.6	96.5	
令和2年度	13.1	12.2	3.4	3.0	31.7	17.5	▲ 14.2	55.1
	103.7	102.5	105.4	117.8	104.6	113.8	95.2	
令和3年度	13.3	12.0	3.5	3.0	31.8	16.3	▲ 15.5	51.3
	101.4	98.6	102.4	100.2	100.3	93.4	108.8	
令和4年度	13.4	12.1	3.6	3.1	32.2	17.4	▲ 14.8	54.0
	100.5	100.9	103.3	102.1	101.1	106.4	95.6	
令和5年度	13.7	12.2	3.7	3.1	32.7	18.8	▲ 13.9	57.5
	102.4	100.5	102.8	101.0	101.6	108.3	93.8	

(注1) 各年度の金額は、当初予算額である。なお、消費税収については、地方交付税分を除いた金額となっている。

(注2) 社会保障4経費とは、制度として確立された年金、医療及び介護の社会保障給付並びに少子化に対処するための施策に要する経費。

(注3) 年金の額には年金特例公債に係る償還費等約0.3兆円を含む。

※ 各係数は四捨五入によっており、合計等が一致しないものがある。